

令和7年度の調査結果

令和7年度の調査対象区間沿道における騒音調査結果は、下表に示すとおりである。

調査対象区間20区間の調査地点のうち、昼間で環境基準を超過しているのが4地点、夜間で環境基準を超過しているのが4地点であった。

自動車騒音調査結果

単位：dB

道路種別	地点番号	路線名	センサス調査単位区間番号	地域類型	等価騒音レベル			
					昼間 (6:00~22:00)		夜間 (22:00~6:00)	
					測定結果	環境基準	測定結果	環境基準
一般国道	1	一般国道26号	10030	B	69	70	61	65
	2	一般国道309号	10080	B	74		69	
	3	一般国道310号	10140	C	68		65	
主要 地方道	4	大阪中央環状線	40030	A	68		66	
	5	大阪大和高田線	40080	C	66		64	
	6	大阪高石線（新）	40160	C	70		63	
	7	大阪高石線（新）	40230	C	71		64	
	8	大阪高石線	40300	C	67		63	
	9	大阪臨海線	40330	C	75		72	
	10	大阪臨海線	40340	C	69		66	
	11	大阪和泉泉南線	40440	C	67		63	
	12	美原太子線（新）	40520	C	64		58	
	13	堺富田林線	40680	A	67		59	
	14	泉大津美原線（新）	40740	C	67		63	
	15	富田林泉大津線	40840	A	65		57	
	16	堺かつらぎ線	40950	B	71		63	
一般府道	17	堺阪南線	60200	C	68		65	
市道	18	八田西八田北線	80090	C	69		61	
	19	鳳西上1号線	80120	C	64		59	
	20	城山台39号線	80150	A	70		62	

※地域の類型ごとに当てはめる地域の指定は、以下のとおりである。

地域の指定	該当地域
A	第一・二種住居専用地域、第一・二種中高層住居専用地域
B	第一・二種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域
C	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

令和7年度 自動車騒音調査地点図



上記に示した沿道での騒音調査結果を基に環境省が作成した面的評価支援システムにより、評価区間の道路に面する地域内にある住居系建物ごとに環境基準超過戸数及び割合など環境基準達成状況を評価した。

令和7の評価区間全体の評価結果は、下図に示す通りである。

幹線道路20区間（定点、準定点）について調査を行い、評価区間延長距離は34.1kmで、対象対象の住宅数は11,698戸であった。そのうち、昼間（6時～22時）・夜間（22時～6時）ともに環境基準を達成したのは11,007戸（94.1%）、昼間の時間帯のみ達成したのは102戸（0.9%）、夜間の時間帯のみ達成したのは360戸（3.1%）、昼・夜ともに未達成は229戸（2.0%）であった。

自動車騒音の環境基準達成状況（令和7年度）

